

【試行】オンラインプラットフォームを活用した 第六期長期計画・第二次調整計画の意見募集について

1. 目 的

- ・ 現在、策定中の第六期長期計画・第二次調整計画において、テーマ別論点集に基づく計画案作成のための市民意見交換会に参加できない市民からも広く意見を聴取するため。
- ・ 計画策定にあたり、一般の市民間での活発な意見交換を促進するため。

2. 課題と経緯

- ・ 従来の長期計画・調整計画は討議要綱・計画案と2回のパブリックコメントを実施してきたが、二次調整計画では討議要綱を作成しないことから、パブリックコメントは計画案の際に1回のみ実施を予定しており、意見交換会に参加しない市民の意見提出の場が用意されていない。
- ・ これまでの市の意見聴取方法は、市民が市に意見・提案を行い、市が提案者に対して回答することが基本となっていたことから、市民は他の方がどのような意見を提案しているのか知る機会が限られている。
- ・ そこで様々な方がオンライン上で意見交換、共有できるオンラインプラットフォームを設け、従来の討議要綱におけるパブリックコメントを補完しつつ、市民が他の意見に触れ、共感や別の新たな意見が生まれる等、意見交換の活性化の取組みとして試行実施したい。

3. オンラインプラットフォーム D-Agree（ディー・アグリー）概要

1) 機 能

- ・ AI ファシリテーション技術を活用したオンラインプラットフォーム。AI が自動的に議論のファシリテーションを行う。参加者の時間的制約が少なく、大規模な意見集約が可能。

2) 特 徴

- ・ 参加者はメールアドレスと名前の登録で、いつでも議論に参加が可能で自由に意見が書き込める。
- ・ 参加者が発言した内容に対して、他の参加者が返信や「いいね」が可能。
- ・ 不適切な発言や炎上を未然に防止するフィルタリング機能あり。
- ・ 議論を AI が解析し、頻出単語ランキングやマップ等をリアルタイムで作成が可能。
- ・ 議論終了後は AI が要約を作成、議論の全文録は CSV で出力が可能。

4. 実施方法

- ・ 第六期長期計画・第二次調整計画においては、テーマ設定に対するパブリックコメントを予定していないため、D-Agree を活用し、意見集約を図る。

1) 期 間

- ・ 令和6年9月2日（月）から9月24日（月）まで（予定）

2) 方 法

- ・ 二次調整計画の5つのテーマごとに D-Agree の議論を作成し、市民からの意見聴取したうえで、AI 解析、要約を行う。頻出単語等からテーマに対する市民の注目の傾向をつかむ。
- ・ 策定委員会からの回答は行わず、計画策定に向けての参考資料として取り扱う。
- ・ 議論終了後に全文録（ログ）は策定委員会に共有する。

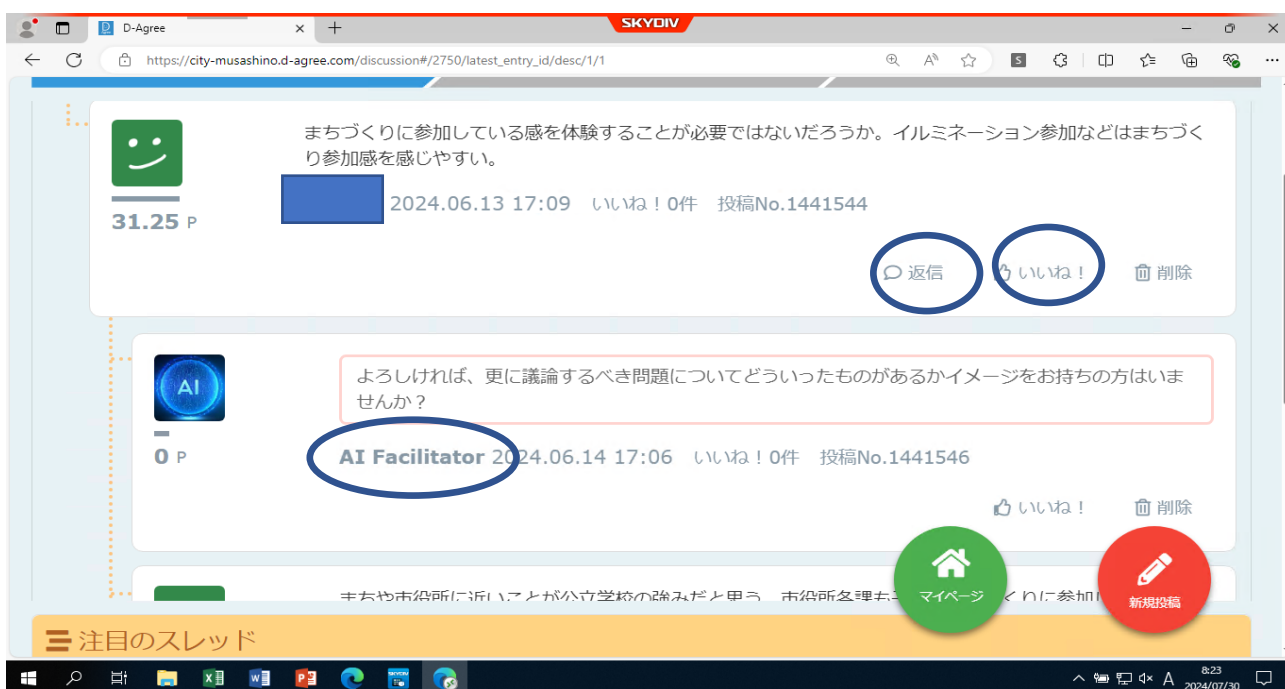
3) その他

- ・ 在住要件について、参加者には住所要件を設定できないため、ユーザー名の後に町名や在勤・在学を入力してもらうことを想定。 例：〇〇太郎（緑町）、〇〇花子（在勤）

5. その他

- ・ 今年度、教育委員会が策定している第四期学校教育計画中間まとめの市民意見聴取にて実施予定（8/15～9/30）。

<画像イメージ>



- ・参加者はいつでも議論に参加可能
- ・参加者同士で返信・「いいね」がつけられる
- ・AI が自動的に議論のファシリテーションを行う。